

# めざめ

だい 第45集 しゅう

ほ ぞんぼん 保存版

「**時**が**解決**する」  
の**で**は**な**く、  
「**わ**た**し**た**ち**が**解決**する！」



〇〇〇〇〇創立100年を機に、改めてわたしの**生き方**を**かんが**える！

と 問     に入る今年創立100年目を迎えた団体は？

(2ページに詳細を掲載しています。)

ちやうないがくしゅうこんだんかい 町内学習懇談会で、この冊子を**かつよう**します。各家庭で**ほかん**ください。



1922年3月3日、部落差別の根絶をめざし、自らが立ち上がった全国水平社の創立から、今年3月で100年を迎えました。

## 水平社がめざした社会は、実現できているでしょうか？



「差別されてかわいそうだから…」という『同情』や『あわれみ』の気もちで人と接するのではなく、**対等な関係の中で尊敬の気もちも持って相手と接する。**水平社創立の精神は、人間の尊厳を大切にする社会の実現をめざすものでした。

創立から100年…、水平社がめざした社会は実現できているでしょうか？改めて一人ひとりが考えたいものです。

人の世に熱あれ

### めざめ第45集 3つの学びのポイント

#### ワークシート1

● 決めつけ・偏見・差別に気づき、柔軟に、様々な角度からその人自身をみる。

#### ワークシート2

● 少数者の思いや願いに気づき、社会にあるかたよった見方や考え方に目を向け、偏見をなくす。

#### ワークシート3

● 差別を許さないわたしの生き方が、社会をよりよくする。



これらの**まな**学びをとおして、

☆ 一人ひとりが自分自身と向き合い、自らの差別性に気づく。

☆ 差別をなくすため、自ら行動を起こす。

など、冊子のタイトルのように、これまでの自分から『めざめ』たいものです。

#### と 問いの答え

全国水平社：部落差別に苦しめられてきた部落の青年が中心となり、自らが立ち上がり部落差別をなくすために結成した団体。「人の世に熱あれ 人間に光あれ」で結ばれる水平社宣言は日本初の人権宣言と言われ、社会のあらゆる人権問題を解決する原点となりました。欧米の人権宣言とともに世界から高く評価されています。

11ページでさらに補足説明をしています。





だれ 誰からも **差別** されない!

だれ たい 誰に対しても **差別** してはいけない!

にほんこくけんぼう ほしょう けんり  
日本国憲法で保障されている権利なのに、

しゃかい げんじつ  
社会の現実とは…?

すべて国民は、法の  
下に平等であつて、人  
種、信条、性別、社会  
的身分又は門地により、  
政治的、経済的又は社  
会的關係において、差  
別されない。

憲法十四条には  
このように記されて  
います。



ところが…

# 1 「外国人」であることで…

じんしゆ  
人種

10 人や国の不平等  
をなくそう

- 「入居を断られた」 → **39.3%**
- 「就職を断られた」 → **25.0%**
- 「同じ仕事をしているのに、賃金が日本人より低かった」 → **19.6%**

\* 外国人住民調査報告書2017年6月より (法務省委託調査研究事業)



しんじょう  
信条

# 2 「正しいと信じていること」で…

● 「あなたはどんな本を愛読していますか？」

この質問は、本来自由であるべき事項です。さらに、個人の思  
想・信条を問うものであり、不適正とされています。昨年度、県  
内810社のうち24社で就職差別につながる不適正質問がありまし  
た。「愛読書」や「尊敬する人物」等に関する質問は18件でした。

\* 県内高校生の就職試験での不適正質問  
(滋賀県教育委員会2022年3月調査結果より)







### 3 「性別」のちがいによって...

## せいべつ 性別

●日本のジェンダーギャップ指数 → **116位** (146か国中)

「女性の政治参加度の低さ」

「女性管理職の少なさ」

「男女の賃金格差」など

が格差の実態として表れていると分析されています。

\*「ジェンダーギャップ指数2022」より（世界経済フォーラムまとめ）

\*ジェンダーギャップ：男女のちがいで生じている「格差」や、考え方で生まれる「不平等」



### 4 「同和地区出身であること」や「家柄」のちがいによって...

☆自分の子どもが結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合...

●子どもの意志を尊重する → **52.3%**

●親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない → **33.7%**

●家族や親せきの反対があれば認めない → **5.2%**

●絶対に認めない → **5.4%**

●無回答 → **5.4%**

(「平成30年度草津市『人権・同和問題』に関する市民意識調査」結果より)



## しゃかいてき みぶん もんち 社会的身分・門地

☆1946年に開かれた帝国議会の「帝国憲法改正案特別委員会」では、『社会的身分』とは部落差別などのこと、「門地」は家柄のことをそれぞれ意味すると議事録に記載されています。日本国憲法草案にあたり、国は部落差別を問題視し、解決をめざしたと考えられます。

## げんじつ このような現実があります



昨年さくねんの「めざめ第44集」では、SDGsをとおして、「持続可能な社会」について考えました。「一人ひとりひとりが安心して暮らし続けられる」ことも持続可能な社会の大切なポイントであると考え、①～④のような現実を放置できません。



差別をなくすためには、「差別とはどのようなことなのか」、また「暮らしの中に差別につながるもの（見方や考え方が）ないか」立ち止まって考えることが大切です。

ワークシート

1

決めつけ・偏見・差別に気づき、柔軟に、  
様々な角度からその人自身をみる。

☆このような会話を聞いたことはありませんか？☆

① ○○町はこわいところだ。



② A型の人（エーがたひと）は神経質（しんけいしつ）で、  
きむずかしい（気むずかしい）。

③ 女性（じよせい）は、家事（かじ）・育児（いくじ）  
で仕事（しごと）を休む（やす）ことが  
多い（おお）から採用（さいよう）しない。



☆会話（かいわ）でどこが、どのように（き）気になる（き）でしょう？

-----

-----

-----

-----

(1) 「○○町（ちやう）は…」 **決めつけ**

①のように、「○○町（ちやう）は」などと『ひとくりにし、決めつけた見方（みかた）』をしていないでしょうか。

(2) 「A型（エーがた）の人（ひと）は…」 **偏見**

②のように、血液型（けつえきがた）で『ひとくりにし、「きむずかしい」など好き嫌い（すききら）や優劣（ゆうれつ）の感情（かんじやう）でみてしまうこと』はないでしょうか。



(3) 「女性（じよせい）は…」 **差別**

③のように『女性（じよせい）であること（さいよう）で採用（さいよう）しない』これは明らか（あき）な差別（さべつ）です。さらに、「女性（じよせい）は…」と決めつけた見方（みかた）が差別（さべつ）につながると考えると、暮らし（くらし）の中（なか）にある「決めつけ」や「偏見（へんけん）」もほうち（ほうち）できません。





「こわいから…」 「<sup>き</sup>気むずかしいから…」

<sup>なかま</sup> <sup>い</sup>  
仲間に入れない

<sup>やと</sup>  
雇わない

<sup>つ</sup> <sup>あ</sup>  
付き合わない

<sup>き</sup> <sup>へんけん</sup> <sup>さべつ</sup> <sup>ばあい</sup>  
決めつけや偏見が差別につながる場合があります。「避ける」も  
それにあたります。「<sup>いえ</sup> <sup>こうじゆう</sup>家を購入しようとしたが、<sup>どうわ</sup> <sup>ちく</sup>そこが同和地区だ  
とわかったので、<sup>か</sup> <sup>さべつ</sup>買うのをやめた」も差別にあたります。

#### (4) <sup>じゅうなん</sup> <sup>さまざま</sup> <sup>かくど</sup> <sup>ひと</sup> 柔軟に、様々な角度からその人を見る…

- ① <sup>ちやう</sup>〇〇町の□□さんは、…だ。
- ② <sup>エー</sup>Aさんは、… <sup>めん</sup>な面もあるが、… <sup>めん</sup>な面もある。
- ③ <sup>しごと</sup>仕事の<sup>のうりよく</sup>能力が<sup>たか</sup>高いので、<sup>ビー</sup>Bさんを<sup>さいよう</sup>採用しよう。

☆①～③のような見方の大切さを考えてみましょう。

<sup>ほか</sup>他にもこのような見方はありませんか。

-----

-----

-----

-----

-----



<sup>あらた</sup> <sup>かんが</sup>  
改めて考えてみましょう！



- ① 「<sup>ひと</sup> <sup>じしん</sup>その人自身をみる」、また「<sup>さまざま</sup> <sup>かくど</sup> <sup>ひと</sup>様々な角度からその人を見る」ことは、<sup>じぶん</sup> <sup>しや</sup> <sup>ひろ</sup>自分の視野を広げ、<sup>であ</sup> <sup>ひと</sup>これから出会う人との<sup>ひろ</sup>つながりを広げます。
- ② 「<sup>ひと</sup> <sup>じしん</sup>その人自身をみる」、また「<sup>さまざま</sup> <sup>かくど</sup> <sup>ひと</sup>様々な角度からその人を見る」ことで、<sup>あいて</sup> <sup>りかい</sup>相手を理解し、<sup>さべつ</sup> <sup>かくさん</sup> <sup>ふせ</sup>差別の拡散を防ぐことにつながります。



にほん す にほんじん たすうしゃ ぞく ところが がいこく く  
 日本に住む日本人は「多数者」に属します。ところが外国で暮らすとなると、  
 しょうすうしゃ ぞく たすうしゃ ぞく じぶん しょうすうしゃ  
 「少数者」に属することになります。「多数者」に属している自分は、「少数者」  
 が感じる生きづらさに気づけているでしょうか。

ワークシート

2

しょうすうしゃ おも ねが き しゃかい  
**少数者の思いや願いに気づき、社会にある**  
 みかた かんが かた め む へんけん  
**かたよった見方や考え方に目を向け、偏見をなくす。**

(1) わたしの『出身』をもとに考える。



① 「どこに住んでいるの？」と聞かれても、返答に迷ったり、  
 ドキドキしたりすることはない。

( ・ はい ・ いいえ )

② 自分の出身を明かしても、就職や結婚に特に影響はないと  
 おもえる。

( ・ はい ・ いいえ )

③ 自分の子どもがいじめにあったとき、「出身が原因ではないか」  
 と思うことはない。

( ・ はい ・ いいえ )

☆ みなさんなら3つの質問にどう答えますか？ 「いいえ」と答える人がいるのはなぜなのか、  
 かんが 考えてみましょう。

-----  
 -----  
 -----  
 -----



(2) 出身を明らかにできない現実…

たけん どうわ ちく そだ  
 他県の同和地区に育ったわたし…  
 すつねんまえ かんざい ひ こ  
 数年前に関西に引っ越してきました。

ところがそこで偏見に満ちた会話が…







わたしのふるさとである同和地区のことを悪く言う会話を聞き流してしまう自分がぐちゃぐちゃで情けない…。

このような思いや、差別を受けてくやしい思いをしている人の存在が気がつかない場合があります。社会に偏見がなければ、自分の出身を迷うことなく話することができるのです。

### (3) 偏見を前に“モヤモヤ”したわたし

大学を卒業する友だちと、就職先のことを話していました。

ところがそこで偏見に満ちた会話が…



偏見に満ちた会話は続きました。

わたしはモヤモヤしながら駅に向かっていました。



## (4) 今度はしっかり言おう!

そのとき、その場にいた友だちの  
一人が後ろから声をかけました。



わたしのモヤモヤは少し晴れた  
気がしました。

☆「何とかしなければ…」と考える二人の思いについてどう思いますか。

- ① 共感するし、そのように行動したい。
- ② 共感するが、その場では言えない。
- ③ 周りに合わせた方が無難である。



## 改めて考えてみましょう!



- ① 暮らしの中の「偏見に満ちた情報」は、少数者を生きづらくさせるとともに、差別を拡散させることにつながります。
- ② 「それはちがうのでは…」と声をあげる人がふえることが、すべての人を大切にし、誰もが安心して暮らせる社会をつくることにつながります。



どうわ ちくしゅっしん であることを理由に、結婚を反対する事象は現在でも起きています。ここでは、結婚差別を解決するための「わたしの生き方」を考えます。

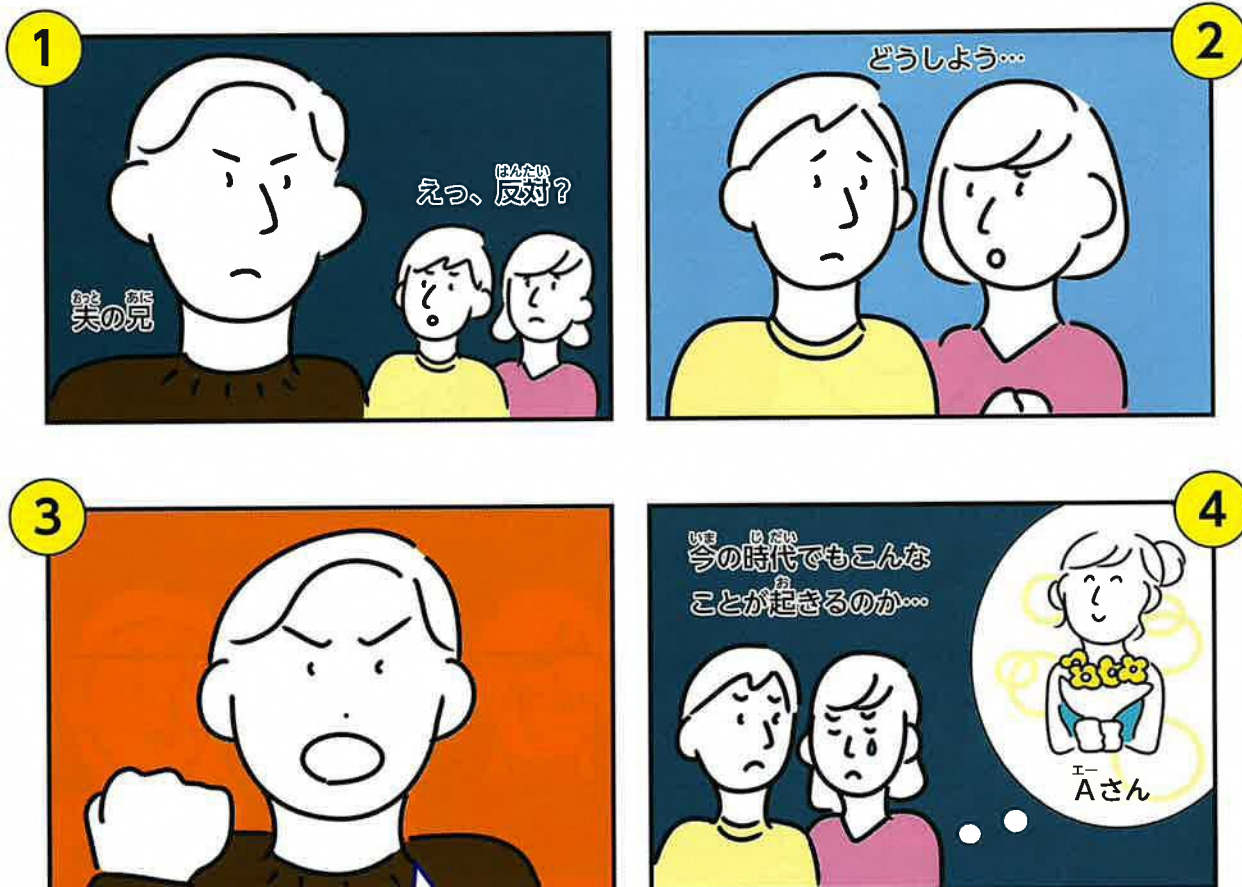
ワークシート

3

差別を許さないわたしの生き方が、  
社会をよりよくする！

### (1) 子どもの結婚に影響するかもしれないから、反対…？

わたしたち夫婦は娘Aの結婚について頭を悩ませていました。夫の兄が結婚に反対と  
出したからです。



エー Aちゃんが同和地区の人と結婚したら、うちの子どもの結婚にまで影響するかもしれない。

夫婦で夫の兄と話をしましたが、態度は変わりませんでした。



「いとこの結婚に影響するから…」、「親せきが反対するかもしれないから…」。  
これが結婚に反対する理由になるのでしょうか。



## (2) 「お父さんの考えはおかしい！」

この事象では、反対していた兄の子どもたちが兄を説得することになります。



☆二人の思いを聞いて、自分が考えたことを出し合いましょう。



あらた かんが  
**改めて考えてみましょう!**



- おい めい ただ なん はんだん こうどう  
甥や姪のように、「正しいことは何なのか」をもとに判断し行動する。  
このような考え方や生き方が差別をなくすことにつながります。

ぜんこくすいへいしゃ すいへい さべつ ひょうどう しゃかい い み  
全国水平社の「水平」とは「差別のない平等な社会」を意味します。

ぜんこくすいへいしゃ たいせつ せいしん ぶらく う じぶん さべつ しゃかい  
全国水平社が大切にされた精神は、「部落に生まれた自分たちを差別する社会こそがおかしい。」と  
これまでの価値観を転換するとともに、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と、部落の人だけでなく  
すべての人を大切にする社会をめざしたものでした。

ひと たいせつ しゃかい  
すべての人に幸せに生きる権利があります。改めて全国水平社の精神に立ち返り、すべての人を  
大切にしたい社会の実現をめざしたいものです。







ひと さべつ ひと  
人がつくった差別は、人でしかなくせません！

ぜんこくすいへいしやそうりつ ねん き  
全国水平社創立100年を機に、

「人間はいたわるものではなく、尊敬し合うものである」

という全国水平社宣言の精神に改めて学び、

一人ひとりの考え方や生き方を見つめ直したいものです。

ひと さべつ ひと  
人がつくった差別は、人でしかなくせません！

かくちやうないかい じちかい だんたい  
各町内会・自治会、団体などで、

お互いを尊敬できる自由で平等な社会を実現するために、

今年度も学びを継続していきましょう！

ねん がつ くさつ しどう わきやういくすいしんきやうぎかい  
2022年9月 草津市同和教育推進協議会  
くさつ し くさつ しきやういくいんかい  
草津市・草津市教育委員会



じむきよく くさつ しりつじんけん けいはつ きやういくがかり  
事務局 草津市立人権センター 啓発・教育係  
〒525-0032 草津市大路2丁目1-35  
(市民総合交流センター・3階)  
TEL 077-563-1765  
FAX 077-563-7070